

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	410	3年	後期	臨床検査学科	必修	病理組織細胞学実習 Practice in Histopathology and Cytology	45	1
担当教員								
則松 良明		細川 翔						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
○	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
○	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
○	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
<p>病理組織細胞診断では、生体内に存在する物質や疾患に陥った時に初めて出現する物質のうちヘマトキシリン・エオジン染色やパバニコロウ染色に染まらないものに対して特殊染色を行う。実習では種々の臓器組織や細胞について線維成分(膠原線維、細網線維、弾性線維、基底膜)の特殊染色、粘液成分(中性粘液多糖類、酸性粘液多糖類)・グリコーゲンの特殊染色、中枢神経の特殊染色ができるようになる。染色された組織標本および細胞診標本について光学顕微鏡で詳細に観察し、特殊染色の理論、意義が説明できる説明できるようになる。</p>								
到達目標（授業目標）								
<p>① 染色の原理、染色手順が説明できる。 ② 学習した染色手順に沿って、実際に組織切片が染色できる。 ③ 光学顕微鏡を正しく使用し、染色標本が観察できる。 ④ 標本を観察し、染色性が評価できる。 ⑤ 標本を観察し、スケッチの作成および所見が説明できる。</p>								
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							

1回	ヘマトキシリン・エオジン染色1：ヘマトキシリン・エオジン染色の原理、染色手順を講義する。組織切片を用いてヘマトキシリン・エオジン染色を実施する。
2回	ヘマトキシリン・エオジン染色2：ヘマトキシリン・エオジン染色標本の評価とスケッチを行う。
3回	粘液成分、グリコゲンの特殊染色1：過ヨウ素酸シッフ染色、アルシアン・ブルー染色、アルシアン・ブルー・過ヨウ素酸シッフ重染色の原理、染色手順を講義する。組織切片を用いて過ヨウ素酸シッフ染色、アルシアン・ブルー染色、アルシアン・ブルー・過ヨウ素酸シッフ重染色を実施する。
4回	粘液成分、グリコゲンの特殊染色2：過ヨウ素酸シッフ染色、アルシアン・ブルー染色、アルシアン・ブルー・過ヨウ素酸シッフ重染色標本の評価とスケッチを行う。
5回	線維成分(膠原繊維、弾性線維)の特殊染色1：アザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色の原理、染色手順を講義する。組織切片を用いてアザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色を実施する。
6回	線維成分(膠原繊維、弾性線維)の特殊染色2：組織切片を用いてアザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色を実施する。
7回	線維成分(膠原繊維、弾性線維)の特殊染色3：組織切片を用いてアザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色を実施する。
8回	線維成分(膠原繊維、弾性線維)の特殊染色4：組織切片を用いてアザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色を実施する。
9回	線維成分(膠原繊維、弾性線維)の特殊染色5：アザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色の評価とスケッチを行う。
10回	線維成分(膠原繊維、弾性線維)の特殊染色6：アザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ビクトリア・ブルー染色の評価とスケッチを行う。
11回	線維成分(細網線維)、腎糸球体毛細血管基底膜の特殊染色1：渡辺の鍍銀染色、過ヨウ素酸メセナミン銀染色の原理、染色手順を講義する。組織切片を用いて渡辺の鍍銀染色、過ヨウ素酸メセナミン銀染色を実施する。
12回	線維成分(細網線維)、腎糸球体毛細血管基底膜の特殊染色2：組織切片を用いて渡辺の鍍銀染色、過ヨウ素酸メセナミン銀染色を実施する。
13回	線維成分(細網線維)、腎糸球体毛細血管基底膜の特殊染色3：組織切片を用いて渡辺の鍍銀染色、過ヨウ素酸メセナミン銀染色を実施する。渡辺の鍍銀染色、過ヨウ素酸メセナミン銀染色の評価とスケッチを行う。
14回	線維成分(細網線維)、腎糸球体毛細血管基底膜の特殊染色4：渡辺の鍍銀染色、過ヨウ素酸メセナミン銀染色の評価とスケッチを行う。
15回	線維成分(細網線維)、腎糸球体毛細血管基底膜の特殊染色5：渡辺の鍍銀染色、過ヨウ素酸メセナミン銀染色の評価とスケッチを行う。
16回	神経線維の特殊染色1：ボディアン染色、クリューバー・バレラ染色の原理、染色手順を講義する。組織切片を用いてボディアン染色、クリューバー・バレラ染色を実施する。
17回	神経線維の特殊染色2：組織切片を用いてボディアン染色、クリューバー・バレラ染色を実施する。
18回	神経線維の特殊染色3：組織切片を用いてボディアン染色、クリューバー・バレラ染色を実施する。ボディアン染色、クリューバー・バレラ染色の評価とスケッチを行う。
19回	神経線維の特殊染色4：ボディアン染色、クリューバー・バレラ染色の評価とスケッチを行う。
20回	神経線維の特殊染色5：ボディアン染色、クリューバー・バレラ染色の評価とスケッチを行う。
21回	免疫組織化学染色：免疫組織化学染色の原理、染色手順を講義する。
22回	細胞診実習：細胞診標本の作成手順、パパニコロウ染色原理、染色手順を講義する。
23回	まとめ：実習のまとめとして、染色した標本のディスカッションを行う。
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	

病理スケッチ(20%)、筆記試験(80%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書 松原修・鴨志田伸吾・大河戸光章他「臨床検査学講座 病理学/病理検査学」(医歯薬出版)

参考図書等 水口國男・伊藤機一・設楽政次「最新 染色法のすべて」(医歯薬出版)

授業時間外の学習について(授業準備のための指示)

病理組織細胞学の講義内容をよく復習し、染色原理と目的を理解してから実習に臨んでください。

関連科目

前科目	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ	146	人体の構造・機能Ⅲ	147	人体の構造・機能実	409	病理組織細胞学
-----	-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

後科目										
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

実務家教員

臨床検査技師(医療機関)	則松 良明	細川 翔				

備考	
----	--